

IPNU

キャンパスネット



「石川県内外で活躍する学生」

「社会人基礎力育成グランプリ 2016」 中部地区大会準優秀賞を受賞！いきいき交流サークル

2015年12月6日(日)に「社会人基礎力」(職場や地域社会で活躍するために必要な基礎的な力)の成長を競う「社会人基礎力育成グランプリ2016」中部地区大会が名古屋産業大学で開催されました。

8つの大学チームが参加し、本学は「看護学生の“地域を守りたい”思いをカタチに一互恵と振り返りは限界集落に活気を与え、学生を自律させる」というテーマのもと、世代間交流を通して限界集落に人の賑わいをもたらす活動、住民の防災意識を高める必要性について発表し、準優秀賞を受賞しました。



「石川県健民運動青少年ボランティア賞を受賞！ 災害ボランティア・サークルふたば」

2016年1月15日(金)に県庁において石川県健民運動青少年ボランティア賞表彰式が行われました。石川県健民運動推進本部長である谷本知事からは「みなさんが行っているボランティア活動は、将来、看護師としての活動の幅を広げていくのに大いに役立つもの」と励ましのお言葉をいただきました。

2012年3月から宮城県亘理町で続けている被災地ボランティア活動とかほく市の自主防災訓練への参加が地域に貢献していると評価を受けました。

目次

学生活動特集	1	図書館から	5	基礎看護学実習Ⅰ	7
大学の主な動き		国際交流の集い2015	5	基礎看護学実習Ⅱ	7
平成27年度卒業式・学位授与式	2	トピックス：CNS合格	5	第Ⅴ段階実習	7
卒業生の言葉(学部)	2	新任教員紹介	6	卒業研究	7
修了生の言葉(大学院)	3	キャンパスライフ		大学院	7
秋のオープンキャンパス2015	3	夏期アメリカ看護研修	6	卒業生の内定状況	8
看護キャリア支援センターから	4	大学祭開催のお礼	6	国家試験結果	8
地域ケア総合センターから	4	この1年を振り返って		キャンパススケジュール	8

大学の主な動き

平成 27 年度卒業式・学位授与式

2016年3月19日（土）、平成27年度卒業式・学位授与式が挙行政され、看護学部88名、看護学研究所博士前期課程12名、博士後期課程1名が本学を巣立ちました。

石垣学長は、トム・ソーヤ冒険の著者であるマーク・トウェインのことば「厄介なのは、何も知らないことではなく、実際は知らないのに知っていると思いこんでいることだ」を引用し、まだまだ知らないことがたくさんある事を自覚し、知識の補充と入れ替え、そして、さらなる普遍的な真理の探究をし、今後も学び続けてほしいとメッセージを込めていました。送辞で在校生代表の角田杏美さんがこれまでの先輩との思い出から感謝の思いを、答辞では卒業生総代の砂田絢乃さん、修了生代表の宮川充子さんが研究を進める中で苦しくも大きな実りのあった本学での学びを今後の研究活動に活かし看護の発展に貢献していきたいとの決意を述べました。後輩の合唱に送られ式場を後にする学生の表情は皆、希望に満ちていました。

学生部長 牧野 智恵



平成27年度学長表彰は、4年砂田絢乃さん、長田菜摘さん、松井久美さん、水本菜々さん、武田悠花さん、山田純子さん、竹内香織さんの7名が受賞されました。

本学の地域貢献、国際交流、ボランティア活動等に積極的に参加したことの功績が評価されました。

おめでとうございます。

卒業生の言葉（学部）



4年間を振り返ると、課題や実習、卒業研究と、忙しくも充実した毎日でした。入学当初は、覚える知識の膨大さに圧倒されましたが、学年が進むにつれ、得た知識が課題や実習を通してつながり、看護について学ぶことがより楽しくなりました。また、学業だけでなく災害ボランティアや限界集落での高齢者との交流など、サークル活動にも参加し、視野を広めることができました。大学での経験や出会いの全てが、今の自分につながっていると思います。

春からはいよいよ看護師として現場に立ちますが、先生方や実習指導者の皆様、実習で受け持たせていただいた患者様、ご家族、地域の方々への感謝を忘れずに、今後も邁進していきたいと思っています。ありがとうございました。

4年 松井 久美

大学の主な動き

修了生の言葉（大学院）



2014年春、がん看護専門看護師を目指し大学院に入学しました。そして今、あっという間の2年だったと感じています。それは、素敵な先生方や、個性的で楽しい院生の仲間に恵まれ、充実していたからです。大学院では、がん看護という専門性の深さだけでなく広い視野を持つことの大切さや、修士論文を通して研究についてじっくり学ぶことが出来ました。ようやく、小さな研究者としてのスタート地点に立てたように感じます。今後は、臨床に身をおきながら、研究と共に看護の発展に貢献していきたいです。

博士前期課程 成人看護学分野 高野 智早



9年前に大学院へ進学し、看護への認識が大きく変わりました。修士課程で過ごした2年間は新しいことを知る喜びで溢れていました。しかし、博士課程はその壁の厚さと高さは何度もぶつかり、7年かかりました。もう進めないと思うことがしばしばありましたが、その度に先生方や同じ院生の方々が励ましてくれ、背中を押して下さい、何とか前に進むことができました。大学院や研究活動を通して知り合った多くの方々は私の一生の宝物です。ここで学び、いただいたたくさんの財産を更に高め、返していけるよう今後とも努めて参ります。

博士後期課程 実践看護科学 I 伊達岡 五月

秋のオープンキャンパス 2015

2015年10月24日（土）にオープンキャンパスを開催しました。

石垣学長より本学の学習内容や期待している学生像等のメッセージ、学生広報委員よりキャンパスライフの紹介を行いました。さらに入試準備セミナーでは、小論文および面接でどのようなことを受験生に求めているのかを具体的に説明しました。学生と教員による相談・交流コーナーでは多くの参加者からさまざまな質問があり、本学教育に対する関心の高さを感じました。

より多くの皆さまが志をもって本学を受験していただけることを期待しています。



大学の主な動き

看護キャリア支援センターから

感染管理ネットワーク～看護キャリア支援センターから全国へ～

感染管理認定看護師教育課程2期生全員が無事修了式を迎えました。

開講から2年、50名の修了生が当センターから巣立ち、西は岡山、東は新潟と感染管理のネットワークを全国に広がっています。

私たちは修了生が絆を深め、より質の高い感染管理活動を実践するために、修了生と履修生が共に学びあえる授業研究や活動報告を行っています。

次年度は教育課程最終年度です。修了生が末永く共に学べる場をつくり、さらに感染管理ネットワークを全国に広がっていきます！

看護キャリア支援センター 准教授 石川 倫子



地域ケア総合センターから

平成27年度中央アジア・コーカサス混成青年研修／地域保健医療実施管理コース

2015年11月23日～12月10日に、医師10名と行政官2名の合計12名(アゼルバイジャン1名、ジョージア2名、キルギス7名、トルクメニスタン2名)が本学企画のJICA青年研修「地域保健医療実施管理コース」の研修を受講するため、来校されました。

本コースは、将来のリーダーとしての予防医学・公衆衛生分野における実施体制の課題解決を担う青年層の知識と意識の向上を目指し、予防、公衆衛生、地域医療、地域医療連携をキーワードとした関連施設の視察と講義を取り入れたプログラムとなっています。講義や視察先では、常に質問や活発なディスカッションが行われ、学ぶ意欲の高さが伺われました。また、研修最後に発表するアクションプランでは、発表すべて今回の学びをうまく取り入れた自国で可能な無理のない計画が発表されました。

今、彼らの国では、エイズやC型肝炎など感染症対策と並行して、生活習慣病が問題となっています。今後、医療中心の概念から予防中心の概念にシフトしていく必要性があり、本研修が、今後の彼らの活動の一助になることを願っています。

地域ケア総合センター 国際貢献担当 准教授 塚田 久恵



大学の主な動き

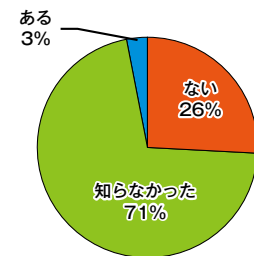
図書館から

図書館の利用実態や運営について検討するため、平成 27 年 12 月「附属図書館に関するアンケート調査」を実施しました。その概要についてお知らせします。

利用頻度について、平成 24 年と比較すると、「ほとんど利用しない」と回答した学生さんが、13%から 9%と減少しています。

しかし、図書館サービスについてあまり知られていないこともわかりました。平成 27 年 4 月から運用を始めた、「石川県立看護大学学術リポジトリ」について、97%の学生が知らない。と回答していることです。平成 28 年度はアンケート結果を踏まえ、業務改善計画を作成し改善を行っていきます。

リポジトリの利用について



国際交流の集い 2015

2015 年 12 月 22 日（火）に本学学生が、国際的視野を広げるとともに、海外で学ぶことへの動機付けの機会とすることを目的に開催しました。

今回は、ロシア人で金沢星稜大学留学生のアンドレイ・エメリアノフさんをお招きし、留学の動機や、来日してからの体験談をお話いただきました。

また、本学 4 年生の松井久美さんには、「青年海外協力隊での活動」をテーマに、中米・ニカラグアでの 3 年間の貴重な経験や活動について発表してもらいました。

発表後には、参加学生がグループに別れ、お二人と直接会話を交わすなど交流を深めました。



トピックス

専門看護師（CNS）認定審査合格

2015 年 12 月 8 日（火）に 2015 年第 25 回専門看護師認定審査合格者が発表され、本学大学院 CNS 課程修了者 4 名が合格しました。

合格者

がん看護専門看護師

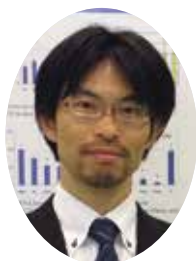
松本友梨子さん（平成 24 年度修了）
上埜千春さん（平成 25 年度修了）
原子裕子さん（平成 26 年度修了）

老人看護専門看護師

蘭 直美さん（平成 20 年度修了）



新任教員紹介



解剖・生理学 講師 市丸 徹

富山県出身、2015年10月に着任しました。1年生の人間機能学Ⅰ・Ⅲを担当しますが、解剖生理学で質問があれば誰でも気軽に来てください。農学部獣医学科卒業後、つくばの研究所や福井大学医学部でヤギ、ラットなどを用いて神経内分泌学的手法による生殖機能調節の研究をしてきました。ここでは初めて経験することばかりですが、私も学びつつ、皆さんが充実した学生生活を送れるよう全力でサポートしたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

キャンパスライフ

平成 27 年度夏期アメリカ看護研修

夏期アメリカ看護研修は2015年8月25日～9月7日の2週間にわたり、アメリカのワシントン州シアトルで行なわれ、本学学生15名（3年11名、2年4名）が参加しました。

学生たちはワシントン大学での様々な講義や施設見学を通して、アメリカの医療・看護について知識を深めました。また、英語を使って色々な人とコミュニケーションをとる楽しさや人々の心のあたたかさを感じたようでした。

ある参加学生は、アメリカと日本の異なる文化や価値観、医療体制を学ぶことが多く、医療従事者が尊重しあいチームプレーをすることはどの国でも基本となるという言葉が印象に残ったと感想を述べていました。



大学祭開催のお礼

2015年10月24日（土）・25日（日）に『\看大祭ダヨ！全員集合／～keep smiling～』のスローガンのもと、看大祭を開催し、無事終了することができました。多くの方々に足を運んでいただき、講演会も盛会でした。看大祭の初日を迎えるまでは、大変だな、面倒だなと思ったこともありましたが、しかし、大学祭実行委員はじめ、先生方、先輩、後輩、みんなのサポートがあり、看大祭を頑張っって成功させたいという思いが強くなり、行動に移すことができました。本当に感謝します。今回、大学祭委員長という貴重な経験をさせてもらったことで、自分自身が少し変わった気がします。誰でもすることの出来ないこの経験は私の宝物です。来年の看大祭も実りあるものになるように私も全力でサポートしたいと思います。



大学祭実行委員長 2年 新田 三起

この1年を振り返って

基礎看護学実習Ⅰ



私は特別養護老人ホームで3日間の実習をしました。利用者さんとしっかり話せるか、スタッフさんの指示や説明が理解できるか、初めての实習ということもありとても不安が大きかったです。実習では、食事や排泄の際の声かけを間近で体験することができました。スタッフは利用者さんの今の身体機能の状況、体調や病気の有無などによって介助の程度を判断するように、全員に同じ介助するのではなく、1人1人を見てその人にあった介助をしていると感じました。個々に沿ったアセスメントをするためにはそれに気付くことが必要で、そのためにはさまざまな経験が欠かせないと思います。考え方をもっと広げるために今まで以上に勉学に励もうとあらためて思う自分の成長につながる実習でした。

1年 泉 彩香

基礎看護学実習Ⅱ



2年次の実習では、実際に患者さんへのケアの計画と実施を行なうという点で1年次の実習とは大きく異なりました。限られた期間で、自分達になにができるのかを考える思考力と、それを実際に行なう看護技術が求められるようになってきます。はじめは、戸惑うことも多く、不安だったり、自信を無くしてしまったりしましたが、患者さんの笑顔や感謝の言葉ひとつひとつが私の自信を取り戻してくれました。患者さんの退院まで見送ることができ、別れ際に感謝や労いの言葉をいただき、看護することの喜びを身をもって感じ、患者さんとの良好な信頼関係を築くことが、看護の第一歩だと学ぶことができました。また、行き詰まった時は、先生方や看護師さんがサポートしてくださったので、安心して実習に臨むことができました。この実習で学んだことを糧に、これからも頑張っていこうと思います。

2年 本城 あや

第Ⅴ段階実習



3年次後期のⅤ段階実習の半年間はとても長く大変でした。しかし、各分野の実習での臨床の場において、多くの患者さんや看護師さんと関わることは大学では経験できないため、日々の実習、体験が学びの連続でした。私は、患者さんとのコミュニケーションにとっても苦労しましたが、患者さんにとって何が必要なのか、どんな看護が必要なのかを考えながら関わるのが大切だと学びました。学生は患者さんにして差し上げられることは少ないのですが、「ありがとう」と言ってくれただけではなく、そこから自信が持つことができました。また看護師さんが多くの患者さんを受け持ち、多重業務をこなされている姿をみて、あらためて責任のある大変な仕事だと実感しました。これからまだまだ看護学、看護技術の習得に頑張らなければならないと気を引き締めています。

3年 林 和慶

卒業研究



卒業研究では、外来看護師による在宅療養移行支援について取り組みました。指導の先生のお話や事例検討会等から、研究内容について学びを深めていくうちにどんどん関心が高まりました。「患者さんにとってどうしたらよりよい看護となるのか」という考察をみんなで話し合う時間はとても楽しくて、研究に取り組んでいると1日があっという間に終わっていきました。研究から得た経験や知識を活かして、看護師として患者さんを癒す看護ケアを提供したいと思っています。困難を共に乗り越えられる仲間と大学4年間を過ごした経験は、これまでにないかけがえのない思い出です。

4年 竹内 香織

大学院



私はこの一年、老人看護専門看護師を目指し学業に励んできました。課題に追われて大変ですが、それ以上に学ぶことが多くとても充実しています。しかし夏に臨床の場に戻った際、座学で得たことを実践に活かすことの難しさを痛感しました。まだまだ沢山の課題があります。休職し学業に専念できるこの環境と素晴らしい先生方に教えて頂けることに感謝し、臨床に戻ったときに活躍できるよう、残りの一年も頑張りたいと思います。

博士前期課程1年 老年看護学分野 芳原 由衣



今年度は、7月に中間報告会と倫理審査を終え、予備調査のデータ収集をはじめました。現在データ分析中ですが、あっという間に1年が終わろうとしています。予定では、今頃本調査の研究計画が立案できているはずでしたが、なかなか思うように進みません。しかし、今こうやって1年を振り返ってみると、わずかではありますが、前に進んでいることを感じることができました。「千里の道も1歩から」…これからも1歩、1歩を進めていこうと思います。

博士後期課程2年 看護デザイン科学分野 橋本 智江

卒業生の内定状況

2016年3月31日現在の就職内定・進学状況は次のとおりとなっております。

<県内就職内定・進学先>

【看護師】石川県立中央病院、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院
 公立松任石川中央病院、JCHO 金沢病院、金沢医療センター、
 金沢赤十字病院、公立能登総合病院、市立輪島病院、
 金沢市立病院、医王病院など

【保健師】石川県、七尾市、穴水町

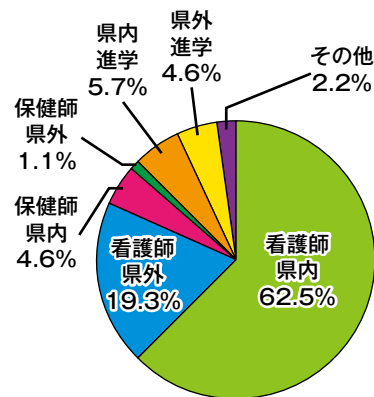
【進学】金沢大学養護教諭特別別科、金沢大学大学院保健学専攻助産学分野

<県外就職内定・進学先>

【看護師】富山大学附属病院、福井県立病院、名古屋第一赤十字病院
 東京慈恵会医科大学附属病院、国立国際医療研究センター病院
 国立循環器病研究センター病院、千葉大学医学部附属病院
 岐阜県総合医療センターなど

【保健師】福井県勝山市

【進学】新潟大学養護教諭特別別科、昭和大学助産学専攻科



第13期生内定状況

国家試験結果

平成27年度看護師・保健師国家試験合格状況(第13期生の状況)

区分	卒業生	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
看護師	88名	80名	80名	100%	94.9%
保健師	88名	88名	84名	95.5%	92.6%

平成28年度 キャンパススケジュール

前 期		後 期	
入学式	4月 5日(火)	授業開始	10月 3日(月)
ガイダンス・健康診断	4月 6日(水)～4月 7日(木)	履修登録受付	9月 20日(火)～10月 5日(水)
授業開始	4月 8日(金)	大学祭(看大祭)	10月 29日(土)～10月 30日(日)
履修登録受付	4月 6日(水)～4月 12日(火)	秋のオープンキャンパス	10月 29日(土)
開学記念日	5月 29日(日)	冬季休業	12月 22日(木)～1月 4日(水)
夏のオープンキャンパス	7月 16日(土)	補講・試験	2月 13日(月)～2月 21日(火)
補講・試験	7月 29日(金)～8月 9日(火)	春季休業	2月 22日(水)～
夏季休業	8月 10日(水)～9月 30日(金)	卒業式・学位授与式	3月 18日(土) 予定
夏期アメリカ看護研修	8月 26日(金)～9月 8日(木)		

石川県公立大学法人



石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科

ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319

URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

版權は石川県公立大学法人に帰属します



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。